

「教育ボランティア ニュースレター」は年2回発行しています。第8号ができましたので、お届けいたします。

神戸市看護大学
〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4

教育ボランティア ニュースレター

第8号

発行日 平成23年5月

子ども達も教育ボランティアさんです!!! ～「小児健康生活支援論」でのふれあい体験～

平成22年度も、多くの教育ボランティアさんに、本学の教育にご協力いただきました。

このレターでは、「小児健康生活支援論Ⅰ」と「災害看護Ⅱ」での教育ボランティアさんの様子や学生の学びをお届けしたいと思います。

「教育ボランティア」さんは、現在も募集中です。お友達やご近隣の方をお誘いいただき、是非学生の教育にご協力ください。

ご登録希望やお問い合わせは、神戸市看護大学 健康支援地域連携センター；古谷（078-794-8080：学校代表番号）までお願いします。

編集・発行

神戸市看護大学

健康支援地域連携センター

教育・研究部門 ニュースレター

平成22年12月17日（金）に、4組の親子（母子3組・祖母と孫1組）が教育ボランティアさんとしてご協力くださいました。この授業では、子育て中のお母さんからのお話を聞かせていただいた後、子ども達との遊び、スキンシップを通したふれあい体験をしました。

お母さんのお話からは、「子どもの成長が、平均と少し違うだけで、自分が責められているように感じる」というような母親の心境の他、子育てに対する思いを知ることができ、母親への支援のあり方を学ぶことができました。

子ども達とのふれあい体験では、年齢の違いで、発達の様子が異なることに驚き、子どもにどのように関

わって良いのか戸惑っている学生もいました。また、お母さんと子どものふれあいを見ていて、親子の絆についても考える機会になった学生もいました。

小さな子どもと接する機会がほとんどない現代の若者の学生にとって、健康な子ども達と関わる貴重な体験ができたようでした。



【子どもとのふれあい体験の様子】

まるで現実!?

緊張感あふれる迫真の演技・・・「災害看護Ⅱ」

平成22年12月10日（木）今年で3回目になる災害看護Ⅱ「トリアージ演習」には、13名の教育ボランティアさんが参加してくださいました。今年も、大型バスの転覆事故現場を再現。本物そっくりのメイクや小道具と、ボランティアさんの事前の役作りのお陰で、学生は、実際の災害現場にいるような臨場感で学ぶことができました。学生は、冷静に判断することの難しさや不安の大きい被災者への声かけ、観察の重要性を実感していました。

また、教育ボランティアさん



【トリアージ演習の様子】

も、トリアージや判定結果の意味を知り、もしも、自分が被災者になってしまったら、どのように状況を伝えれば良いのかを考えるきっかけになったと言っていました。